

こんなことができます!

低出生体重児の発達支援・子育て支援に興味をもっています



夢

さまざまな形で子どもの発達を支えるお手伝いができたらと思います

人間発達文化学類

高谷 理恵子

TAKAYA Rieko

教授 教育学修士(教育心理学)

専門分野

発達心理学、低出生体重児の発達支援

特許情報、著書、論文

- 生後2か月革命(2001)小泉英明(編著) 脳図鑑21 工作舎、95-112.
- 低出生体重児の発達予後と自発運動(2010) 児童心理学の進歩2010年版、金子書房、149-175.
- 身体制御のメカニズムと発達(2012) 発達科学ハンドブック4 発達の基盤:身体、認知、情動、新曜社、92-104.



乳児の自然な動きの軌跡を分析します



低出生体重児の発達支援を行っています。生まれたばかりの赤ちゃんの自然な動きを観察することで、発達面で抱えるリスクを判定し、その後の発達支援につなげる研究を行ってきました。最近では幼児期の発達支援教室や子育て中の家族を対象にした子育て支援教室にも興味をもって活動しています。また東日本大震災後の福島における子どもとその両親のストレス調査も継続して実施しています。

想定するパートナー

発達支援に興味をお持ちの方とつながっていききたいです

具体的な連携、事業化のイメージ

県内の親支援教室、子どもの発達支援教室の実施など

これまでの取組事例

国立病院機構福島病院にて、幼児期における低出生体重児の発達支援の在り方を模索するため幼児教室と母親教室から構成される「すくすく幼児教室」を実施し、地域における発達支援の在り方の検討に貢献しています。

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

